

ここには当研究所が所蔵する邦文文献を中心にサハラ以南アフリカの政治変動に関する単行書および雑誌記事、論文を収録した。スペースの制約上本誌第6号(1988年3月)の小特集「アフリカ政治の動き」に付された政治関係文献目録との重複を避けた。



丹莖靖子・井村 進

<アフリカ一般>

- アフリカ現代史 I 総記 南部アフリカ(星昭・林晃史著), II 東アフリカ(吉田昌夫著), III 中央アフリカ(小田英郎著), IV 西アフリカ(中村弘光著), V 北アフリカ(宮治一雄著), 東京 山川出版社
- 堂之脇光朗, 仙石 敬, 堀内伸介: 苦悩のアフリカ最前線を語る <座談会> This is 5(12) 1988.12: 72-97
- 犬養道子: アフリカへ(地方と中央-新しい関係を考える-) 世界 (517) 1988. 7: 160-170
- 金子絵美: コンゴ紛争とボックス・アフリカーナの模索(1960-65年) 国際政治 (88) 1988: 140-157
- 川端正久: アフリカの政治を読む (1) (2) 竜谷法学 21 (4), 22 (1) 1989. 3-6: 92-108, 494-513
- 川田順造: 民族とは何か 川田順造・福井勝義〔共編〕 東京 岩波書店 1989 358p.
- 桐山孝信: マイヨット問題「人民」自決権 外国学資料(神戸市外国語大学外国研究所) (39) 1988. 3: 23-39
- 松本仁一: 国民を飢えさせた「アフリカ社会主義」独裁と非能率, そして…… 世界 (507) 1987. 11: 162-175
- 中原精一: 第三世界と憲法政治 アフリカの場合(序説) 紀要(明治大学短期大学部) (40) 1987. 1: 1-17
- 那須国男: アフリカの現代史 北・西アフリカの独立とクーデター歴 月刊アフリカ 30 (5) 1990. 5: 41-44
- 那須国男: 非社会主義の国にも波及-アフリカ複数政党へのヌーベル・バーク 月刊アフリカ 30 (7) 1990. 7: 6-40
- 日本国際政治学会〔編〕: 現代アフリカの政治と国際関係 東京 日本国際政治学会 1988 203, 15p.

(国際政治 88)

- 小田英郎: アフリカ現代政治 東京 東京大学出版会 1989 216p.
- 小田英郎: 現代アフリカ政治の諸相(最近のアフリカ政治の動き) アフリカレポート (6) 1988. 3: 2-7
- 小田英郎: 現代の国際政治とアフリカの現実 外交フォーラム (9) 1989. 6: 37-45
- 小田英郎: 序論 現代アフリカの政治と国際政治-その基本問題- 国際政治 (88) 1988: 1-8
- 奥野保男: アフリカと非同盟運動 国際政治 (88) 1988: 158-171
- 奥野保男: 21世紀のアフリカ像を探る-混迷と期待 世界週報 69 (41) 1988. 10, 11: 12-21
- 政治関係文献目録(小特集 最近のアフリカ政治の動き) アフリカレポート (6) 1988. 3: 30-33
- 鈴井宣行: アフリカ民衆の植民地解放への覚醒-「O Pays, mon beau peuple!」における主人公ウマールの「闘い」- 京都外国語大学研究論叢 (30) 1988: 141-168
- 竹沢尚一郎: 権力の原形と変形-西アフリカ, マンデ系社会における首長制と国家-(<シンポジウム> 首長・国家・権力-政治人類学の「フィールド」として) 季刊人類学 19(4) 1988: 4-26
- 梅津和郎: 民主主義の潮流とアフリカ 海外事情 38 (2) 1990. 2: 57-68
- 海津和郎: 新アフリカ現代史 現代アフリカの民族主義と共産主義 東京 泰流社 1987 201, 5p.
- 浦野起央〔編著〕: アジア・アフリカ年表 I I 1940-1959年 II 1960-1969年 III 1970-1979年 東京 パピルス出版 1979 (資料体系アジア・アフリカ国際関係政治社会史 第9巻)
- 浦野起央・西修〔編著〕: 憲法資料<アフリカ> I 赤道ギニア共和国 ザイール共和国 ルワンダ共和国 ブルンジ共和国 エチオピア ソマリア民主共和国

- ジブチ共和国 エモロ・イスラム共和国 モザンビーク人民共和国 アンゴラ人民共和国 南アフリカ共和国 ジンバブエ国 東京 パピルス出版 1982 776p. (資料大系 アジア・アフリカ国際関係政治社会史 第8巻)
- 憲法資料<アフリカ>II モーリタニア・イスラーム共和国 セネガル共和国 マリ共和国 ギニア・ビサオ共和国 カボベルデ共和国 ギニア人民革命共和国 カメルーン連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 セーシェル共和国
- (なお同くアフリカ>III ガンビア共和国 シェラレオネ共和国 タンザニア連合共和国 ウガンダ共和国 モーリシャス国 ザンビア共和国 マラウイ共和国 ボツワナ国 ガーナ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ケニア共和国 マダガスカル民主共和国 レソト王国 スワジランドは1991年刊行予定)
- 図解：最近のアフリカ政治の動き サハラ以南アフリカ諸国の政治体制 (1987年12月時点) (小特集 最近のアフリカ政治の動き) アフリカレポート (6) 1988. 3 : 26-29
- <南部アフリカ>
- 井上一明： 南部アフリカの諸紛争とデタント 国際問題 (352) 1989. 7 : 51-65
- マクベイン, ベン： アメリカの対南部アフリカ政策—レーガン時代 (下) 世界政治 (799) 1989. 10 下旬 : 48-52
- 中原精一： 南部アフリカ諸国の憲法 (1) (2) 月刊アフリカ 30(1) (3) 1990. 1, 3 : 27-29, 30-32
- 竹田保孝： アンゴラ和平とナミビア独立 海外事情 37(3) 1989. 3 : 15-29
- ・アンゴラ
- 平野克己： アンゴラ近代史概説 現状分析の基礎として アフリカ 28(3) 1988. 3 : 11-20
- 芝実： キューバ軍アンゴラ撤退が意味するもの—地域紛争解決促進のレーガン時代— 調査室報 (79) 1989. 4 : 54-70
- ・ナミビア
- 青木一能： 独立・民主ナミビアに向って—SWAPOの政策的立場 (上・下) 世界政治 (810) (812) 1990. 4-5 : 21-28, 45-51
- 青木一能： ナミビアの独立 世界経済 (405) 1990. 5 : 22-26
- 青木一能： ナミビア独立問題の推移と現状 国際政治 (88) 1988 : 47-68
- 林 晃史： ナミビア独立問題 アフリカレポート (9) 1989. 9 : 29-31
- 林 晃史： ナミビア独立に向けて アフリカレポート (10) 1990. 3 : 35-37
- 林 晃史： やっと見えてきたナミビア独立 SWAPOを中心に各地の駆け引き続く? 世界週報 70 (51) 1989. 12. 19 : 22-25
- 堀江浩一郎： 独立へ歩み始めたナミビアの苦難—人民機構(SWAPO)と南アとの戦いの中で— エコノミスト 1989. 10. 10 : 96-101
- 堀江浩一郎： ナミビア独立のゆくえ 世界 (534) 1989. 11 : 175-187
- 家 正治： ナミビアの独立と国際連合 海外事情 38(6) 1990. 6 : 72-86
- 伊藤正孝： 不完全燃焼に終わったナミビアの独立 月刊アフリカ 30(1) 1990. 1 : 8-12
- Katjavivi, Peter H. : ナミビアにおける抵抗の歴史(1)-(4) 世界政治—論評と資料— (801)-(805) 1989. 11 下旬-1990. 1 下旬
- 中原精一： ナミビアの独立と新憲法 月刊アフリカ 30(4) 1990. 4 : 10-13
- ナミビア制憲議会選挙 国際協力特別情報 15 (23) 1989. 12. 15 : 27-31
- 那須国男： アンゴラ和平とナミビアの独立問題 月刊アフリカ 28(10) 1988. 10 : 6-12
- 夏目雅至： ナミビア制憲議会選挙の結果と独立への道 世界政治 (803) 1989. 12下旬 : 22-25
- 上林陽治： ナミビア不法統治を支える日本 世界 (509) 1988. 1 : 312-317
- ・南アフリカ共和国
- 阿部 登： 事態打開のめどないボタ政権—最近の南アフリカ情勢に見る— 世界政治 (752) 1987. 11 / 上旬 : 26-32
- Benson, Mary : ネルソン・マンデラ 阿部登 村山淳彦訳 東京 新日本出版社 1989 340p.
- 別所裕二： 南アフリカ(1)(2)—FROM・アフリカー 月刊アフリカ 29 (11) (12) 1989. 11, 12 : 29-31, 25-27
- Brink, Ander : 見えない南アフリカを見る (奥野保男, 芝実共訳) 東京 晶文社 1987 330p.
- 英連邦賢人調査団： アパルトヘイト白書 英連邦調査団報告(笹生博夫ほか訳) 東京 現代企画室 1988 227p.
- Giliomee, Hermann : 余りにも重い歴史と現実—ANCの強さと弱さ— 世界 (519) 1988. 9 :

- 172-179
- 林 晃史： アパルトヘイトのキーワード 世界(519) 1988. 9 : 82-94
- 林 晃史： 南アフリカ共和国のインカタ運動 国際政治 (88) 1988 : 9-26
- 林 晃史〔他〕： 南アフリカのアパルトヘイト問題 <座談会> (南アフリカのアパルトヘイト問題) アジ研ニュース (78) 1987. 4 : 2-21
- ヘリベルト, アダム： アパルトヘイト廃絶へのシナリオ 世界 (519) 1988. 9 : 180-198
- 堀江浩一郎 アパルトヘイトのコスト (研究ノート) 国際研究論集 (八千代国際大学) 1 (3/4) 1988. 10 : 515-525
- 堀江浩一郎： “ブラック・オン・ブラック”の構図—なぜ、黒人が黒人を殺すのか— 世界 (519) 1988. 9 : 106-115
- 堀江浩一郎： 南アフリカの反アパルトヘイト運動—UDFを事例として— 国際政治 (88) 1988 : 27-46
- 堀江浩一郎： 解放運動にのしかかる黒人対黒人の暴力—南ア・アパルトヘイトが生み出した現実— エコノミスト 1989. 3. 14 : 80-86
- 堀江浩一郎： ナミビアと南アフリカ—ホームランドをめぐる課題— 海外事情 37(11) 1989. 11 : 35-50
- 堀江浩一郎： 南ア問題のもう一つの顔—ナタール地方における黒人間抗争— 海外事情 37(4) 1989. 4 : 95-111
- 堀江浩一郎： 最近の南アフリカ情勢 海外事情 36 (7/8) 1988. 7/8 : 95-105
- 伊部正之： 現代史の中のアパルトヘイト—南アフリカ, その過去・現在・未来— 前衛 (534) 1986. 5 : 247-261
- 伊藤正孝： 見えて来たアパルトヘイトの崩壊—黒い津波に屈服した白人至上主義— 朝日ジャーナル 1990. 2. 16 : 22-25
- 勝俣 誠： アフリカの二つの民族自決運動を考える—アルジェリアと南アフリカ— マグレブ (122) 1988. 10 : 58 : 74
- 桐山孝信： 南アの非植民地に向けて—法的アプローチの新たな展開— (第三世界と国際法) アジア・アフリカ研究 28(1) 1988 : 53-68
- Lelyveld, Joseph : おまえの影を消せ 南アフリカ時の動きの中で 東京 朝日新聞社 1987 614p.
- マンデラ氏釈放と南アフリカ情勢 (資料) 世界政治 (809) 1990. 3下旬 : 14-28
- Matsila, Jerry : アパルトヘイトの牢獄を解放せよ—子どもまで投獄され拷問されている— 月刊総評 (371) 1988. 11 : 33-35
- Matsila, Jerry : 黒人たちの忍耐は限界を超えた—ANC駐日代表は訴える— 世界 (519) 1988. 9 : 162-171
- 松本仁一： アパルトヘイトを崩す? 白人市民の“意識変革” 朝日ジャーナル 30(4) 1988. 1. 29 : 30-33
- 松本仁一： ダン・チキ・ワトソン—家の場合—アパルトヘイトと闘う白人たち— 世界 (519) 1988. 9 : 96-105
- 松本仁一, 竹田保孝, 石郷岡建： アパルトヘイトをめぐる人々—南ア共和国人名録— 世界 (519) 1988. 9 : 68-80
- 南アフリカの労働組合運動(上), (下) (ILO特別報告書「南アにおけるアパルトヘイト」(1988)から) 世界政治 (796) 1989. 9月上旬 : 24-30
- 南アのANCなどの「自由憲章」再考 月刊アフリカ 29(12) 1989. 12 : 12-16
- 那須国男： デ・クラーク改革と内外の反響 月刊アフリカ 30(4) 1990. 4 : 7-9
- 那須省一： 南ア・アパルトヘイトの極右 不気味な勢力拡大 This is 5(5) 1988.5 : 239-244
- 日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会： アパルトヘイト 南アフリカの現実 東京 新日本出版社 1988 190p.
- 小田英郎： シャバ紛争の一考察 法学研究(慶応義塾大学) 60(1) 1987. 1 : 57-77
- 奥野保男： マンデラ釈放と南ア白人支配の行方 世界週報 71 (12) 1990. 3. 20 : 10-13
- 奥野保男： 南アフリカの抑圧策はいつまで続くか 後退するボタ政権下での「改革」路線 世界週報 69(19) 1988. 5. 3/10 : 12-17
- Omond, Roger : アパルトヘイトの制度と実態 一問一答 ロジャー・オモンド著 斎藤憲司訳 東京 岩波書店 1989
- 斎藤憲司： 南アフリカ—イギリス型議会から人種別三院議会— (短報・激動する議会) レファレンス (440) 1987. 9 : 135-141
- 笹原溪介： 反アパルトヘイト運動の高まり 月刊社会党 (374) 1987. 4 : 133-142
- 佐々木良昭： 南アの実態 海外事情 36(11) 1988.

11: 72-81

佐藤幸男・藤本義彦: 国連とアパルトヘイト-国連における投票行動を中心として 広島平和科学 (広島大学平和科学研究センター) (12) 1989: 133-176

住吉良人: アパルトヘイト条約の法的性質 法律論叢 (明治大学法律研究所) 60 (4/5) 1988. 3: 79-136

トウーディ, ミリアム [他] 他 ともかく南ア黒人の叫びを聞いて/ <対談> 朝日ジャーナル 1989. 11. 24: 79-83

ウーリグ, マーク: アフリカ民族会議 (ANC) の内幕 (「ニューヨーク・タイムズ」紙, 1986年11月6日付日曜版) (アフリカが危ない) 自由 29(5) 1987. 5: 107-120

牛久保順一: 南ア・ボタ政権の生き残り作戦 レアメタルをめぐる東西両陣営の争奪戦 貿易と産業 28 (6) 1987. 6: 40-51

吉田ルイ子: アパルトヘイトを内と外からみる 朝日ジャーナル 30(19) 1988. 5. 6/13: 92-95

吉田ルイ子: 私の南アフリカの旅 世界政治 (759) 1988. 2: 2-11

<その他の地域>

・ブルキナ・ファソ

原口武彦: 一つの夢の終点 ブメキナファソのクーデター (小特集 最近のアフリカ政治の動き) アフリカレポート (6) 1988. 3: 20-23

・ブルンジ

服部伸六: ブルンジ悲劇の構造 月刊アフリカ 28(11) 1988. 11: 6-7

武内進一: ブルンジ 3度目のクーデター (小特集 最近のアフリカ政治の動き) アフリカレポート (6) 1988. 3: 24-25

・エチオピア

カプシチンスキー, R.: 皇帝ハイレ・セラシェ エチオピア帝国陥落の日々 (山田一広訳) 東京 筑摩書房 1989 243p.

岡倉登志: 近年におけるエチオピアの政治情勢-人民共和国成立に関連して- (小特集 最近のアフリカ政治の動き) アフリカレポート (6) 1988. 3: 16-19

・ナイジェリア

望月克哉: 政治の季節-ナイジェリアの民政移管 アフリカレポート (9) 1989. 9: 44-48

中村弘光: ナイジェリアの政治と都市の変容-カノを中心として- アフリカレポート (9) 1989. 9:

10-15

佐々木俊郎: 現代ナイジェリア政治の一考察-連邦制の成立- 国際政治 (88) 1988: 107-123

戸田真紀子: 多様性の中の国家建設-ナイジェリアの事例を中心に- アジア・アフリカ研究 29(2) 1989: 67-92

・スーダン

石田 進: スーダンクーデター 中東協力センターニュース 1989. 9: 21-26

栗田禎子: 「社会民主主義的イスラム」の敗北-マフムド・ムハンマド・ターハーの「第2のメッセージ」論と現代スーダン政治史上におけるその位置- イスラム世界 (29/30) 1988. 3: 33-51

スーダン無血クーデター 中東経済 ニュースと分析 16 (7/8) 1989. 8. 15: 22-27

スーダンのクーデター 国際協力特別情報 15 (15) 1989. 8. 1: 59-63

・タンザニア

川端正久: アフリカにおける政治学-タンザニアの事例- アフリカ研究 (33) 1988. 12: 55-82

川端正久: タンザニア第3回党大会とニエレレ議長再選 (小特集 最近のアフリカ政治の動き) アフリカレポート (6) 1988. 3: 12-15

富永智津子: ザンジバルにおけるナショナリズムとエスニシティ 歴史学研究 (593) 1989. 5: 1-19

・ザイール

金子絵美: アフリカ諸国とコンゴ紛争の勃発 パックス・アフリカーナの実験 論文集 (慶応大学大学院法学研究会) (26) 1987. 9: 27-45

武内進一: ザイールにおける「政治の優越」 アフリカレポート (8) 1989. 3: 42-43

・ジンバブエ

井上一明: ジンバブウェにおける国民形成-ZANU (PF)の党再建活動と第二回党大会を中心として- 国際政治 (88) 1988: 69-85

石郷岡建: ジンバブエの最近の政治について (小特集 最近のアフリカ政治の動き) アフリカレポート (6) 1988. 3: 8-11